

分野	指標の状況	御意見
<p>栄養・食生活</p>	<p>○野菜の摂取量:改善傾向 ○食塩の摂取量:改善傾向 ○果物の摂取量:不変 ○脂肪エネルギー比率:不変</p>	<p>年代ごとに、異なる栄養バランスの目標と働きかけが必要ではないか。 果物の摂取の必要性に関する普及啓発が必要 小売店と行政がタイアップした普及啓発。都は、都全域のチェーン店への働きかけを進めてほしい。</p>
<p>身体活動・運動</p>	<p>○歩数(1日当たり)が8,000歩以上の人の割合 20～64歳:不変、65～74歳:改善 ○歩数(1日当たり)が下位25%に属する人の平均歩数:20～64歳:不変、65～74歳:不変</p>	<p>休養の状況も踏まえた評価の必要性 引きこもりや関心が低く、外に出ない人に対する対応が必要ではないか？ (積極的に運動をする人の特性を知り、逆説的に取組まない人への働きかけを考えてはどうか)</p>
<p>休養・飲酒・ こころの健康づくり</p>	<p>○休養: 睡眠時間が十分、あるいはほぼ足りている人の割合:悪化 眠れないことが全くない、あるいはめったにない人の割合:悪化 ○飲酒: 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合:不変 ○こころの健康づくり: 支援が必要な程度の心理的苦痛を感じている者:不変</p>	<p>(睡眠の重要性に対する啓発) ・職域(経営層)に対する働きかけの継続 ・プレゼンティーズムと睡眠問題の経営層への認識啓発 ・睡眠不足と生活習慣 ・不眠とうつ病の関連 ・夜勤の問題 (飲酒に関する啓発) ・女性の飲酒率・飲酒量の普及啓発 ・寝酒・晩酌等に関する警鐘</p> <p>→&lt;休養・飲酒全体&gt; 年齢階層別や不規則勤務等、個別の対応を含んだ資料の作成や普及啓発等</p>
<p>がん</p>	<p>○がんによる75歳未満年齢調整死亡率:改善傾向</p>	<p>検診の不利益についても、きちんと周知が必要 区市町村では、対策型検診をしっかりと実施すべき</p>
<p>糖尿病・ メタボリック シンドローム</p>	<p>○糖尿病腎症による新規透析導入率:改善傾向 ○糖尿病網膜症による失明発症率:改善傾向</p>	<p>特定健診(腹囲)だけでなく、脂質、血圧、HbA1cに異常がある方へのアプローチが必要では。</p>
<p>循環器</p>	<p>○脳血管疾患及び虚血性心疾患 による年齢調整死亡率:改善傾向</p>	<p>循環器疾患減少のためには、たばこ、糖尿病、血圧、LDLが大きく関連するので、その対策が必要。</p>
<p>次世代の健康</p>	<p>○1日に60分以上運動・スポーツをする児童・生徒の割合:不変</p>	<p>教育委員会と連携したイベントの実施などを実施してはどうか。</p>
<p>全体</p>	<p>-</p>	<p>普及啓発に加えて、ターゲットを絞った戦略が必要 →今後は、社会的弱者(ひとり親やその子供等)や健康無関心層等への支援も考えていかなければならない。  特定健診結果以外で個人で自分の不健康度を認識する指標はないか。  区市町村での取組の取りまとめと、情報提供</p>